

令和元年(2019年)12月期 決算説明会

オエノンホールディングス株式会社

自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、
人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。

令和2年2月14日

代表取締役社長 西永裕司

証券コード：2533

1. 令和元年度 連結決算概要
2. 令和2年度 重点方針
3. 令和2年度 通期業績見通し



1. 令和元年度 連結決算概要
2. 令和2年度 重点方針
3. 令和2年度 通期業績見通し



市場・業界

経済情勢

- ・米中貿易摩擦の拡大、海外経済の不確実性の高まりなどに大きく左右された。

業界動向

- ・価格重視の消費行動が強く、消費増税が大きく響いた。併せて大型台風等の災害の影響大
- ・ドラッグストアチェーンでの酒類販売が拡大

1-12月実績

(百万円、%)

	H30年	R元年	増減	前期比
売上高	77,151	75,444	△1,707	98
営業利益	1,582	1,752	170	111
経常利益	1,605	1,745	139	109
親会社株主に帰属 する当期純利益	469	1,104	634	235

1-12月実績

H30年営業利益	15.8億円
R元年営業利益	17.5億円

酒類事業 1.1億円

加工用澱粉事業 0.4億円

酵素医薬品事業 0.0億円

その他 0.2億円

増益の合計
+1.7億円

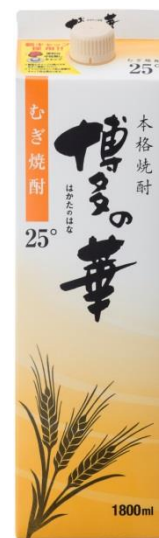
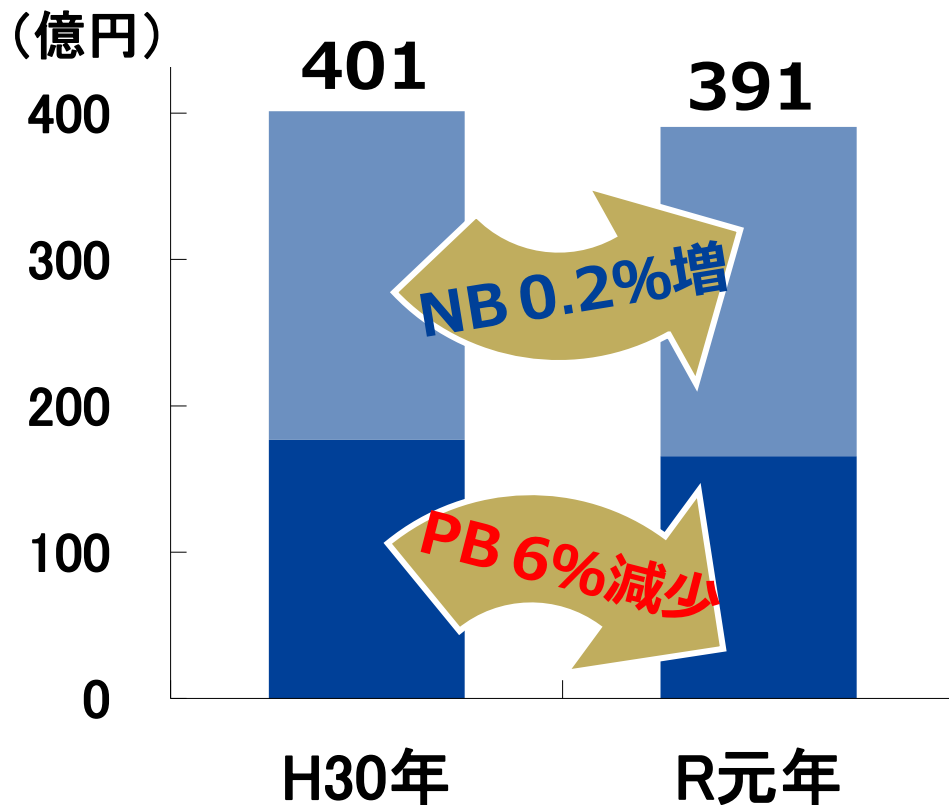
原材料(粗アル)単価低減
+2.2億円

販管費の削減効果
+5.5億円

減益の合計
△0.0億円

+1.7億円

令和元年度 焼酎の売上高



博多の華



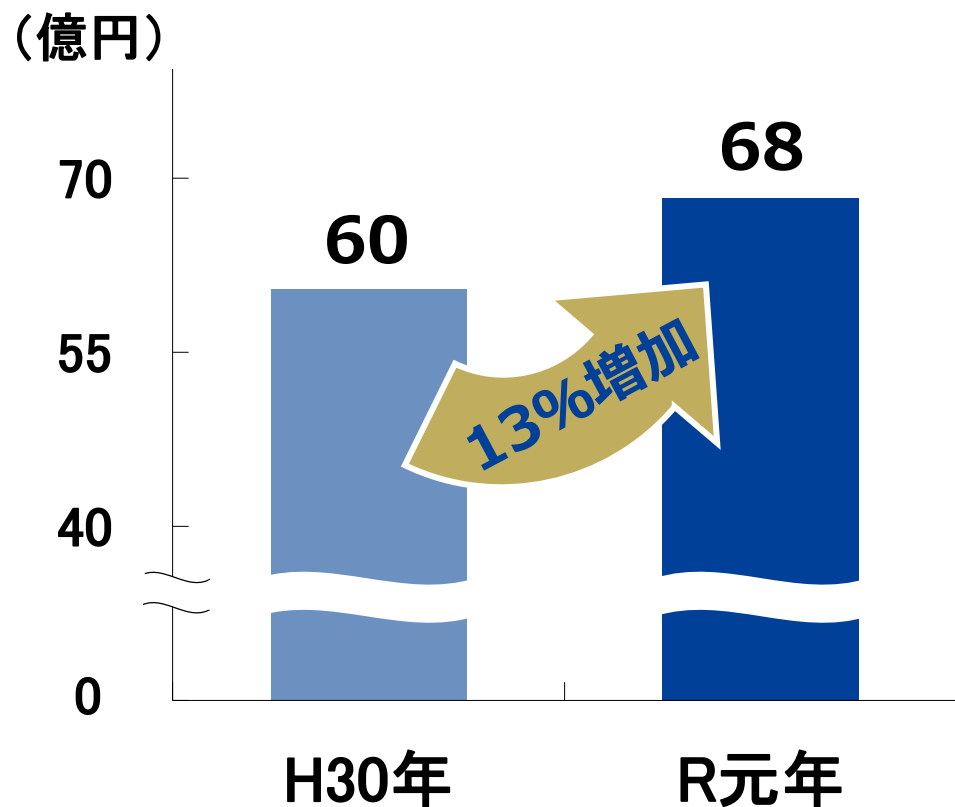
すごむぎ



すごいも

「博多の華」「すごむぎ・すごいも」増加 ↑

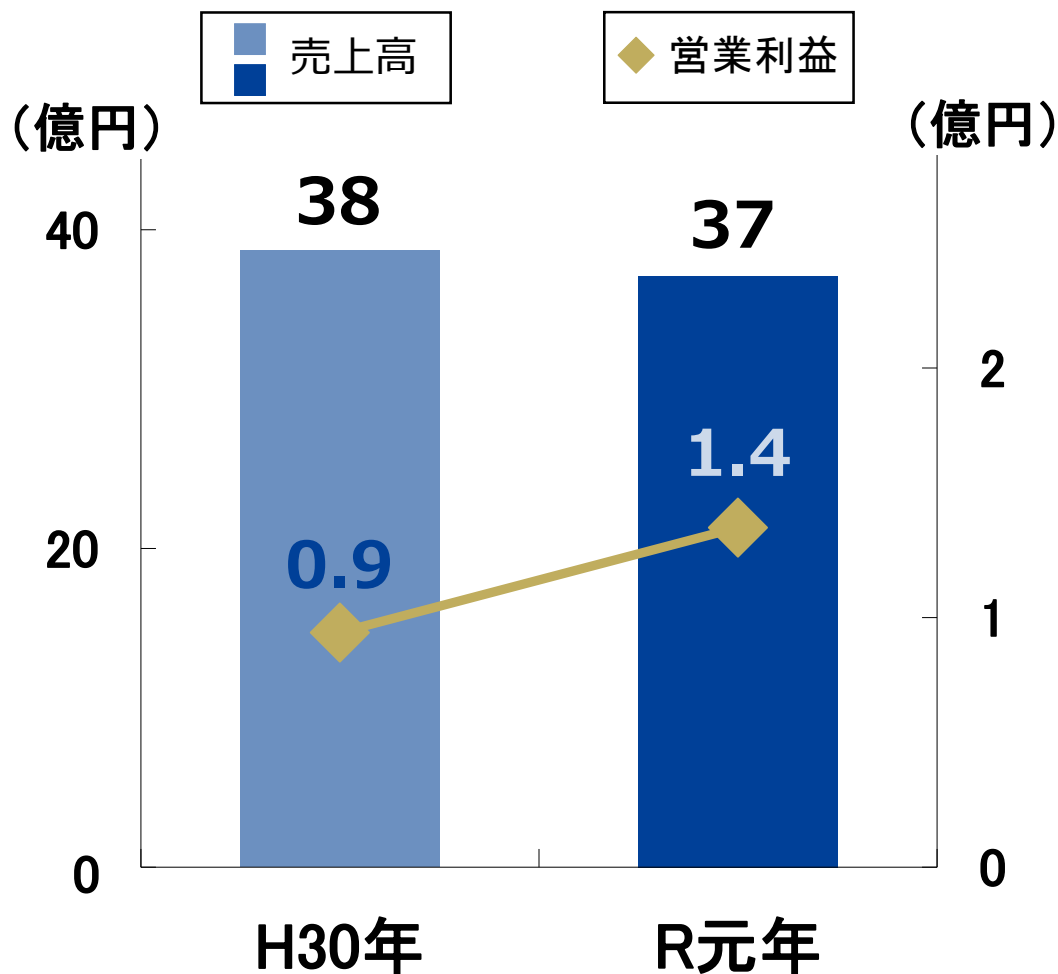
PB商品、梅漬込用焼酎減 ↓



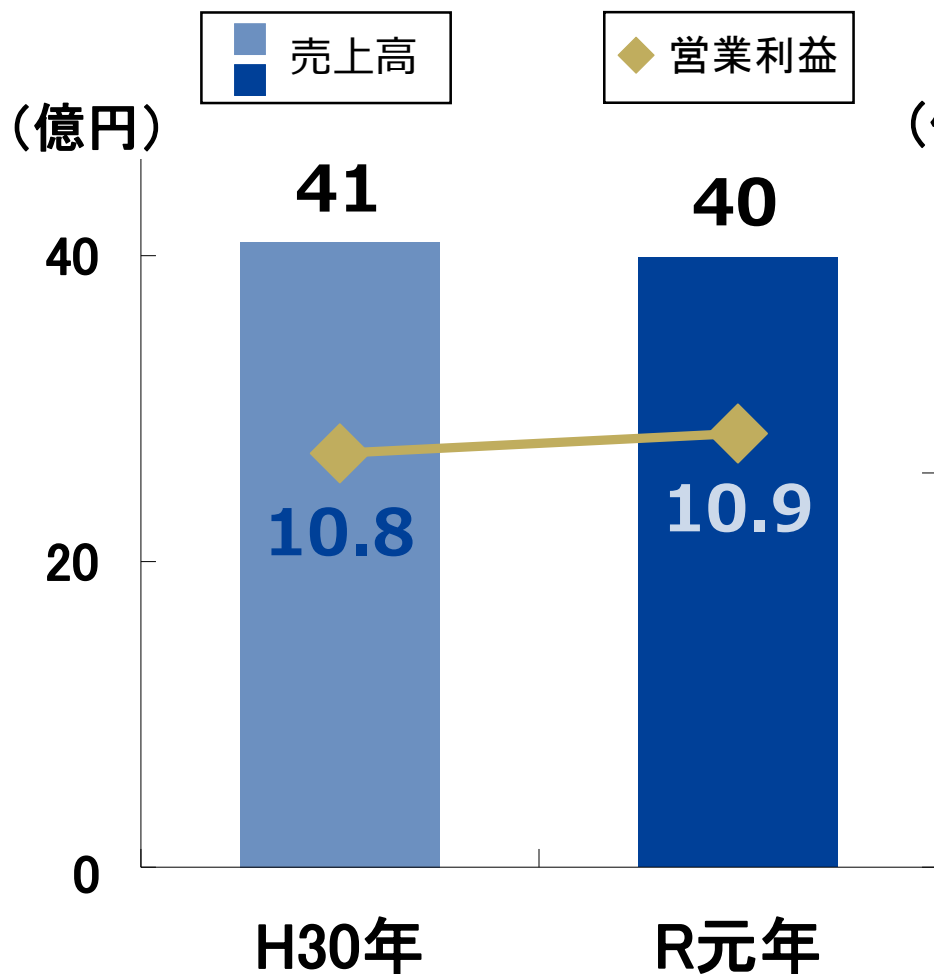
**工業用
アルコール
売上の伸張**



R2年度は82億円（前年比121%）を計画



コーングリッツ
ビール用:好調
菓子用:低調



(億円) ➤ 生産支援ビジネス
新規取組みの拡大
前年比116%

➤ ラクターゼ
為替の影響
△1.2億円

1. 令和元年度 連結決算概要
2. 令和2年度 重点方針
3. 令和2年度 通期業績見通し



5本の柱

焼酎
事業に
集中

アルコール
事業
販売の
拡大

生産
改革

酵素
医薬品
事業の
新展開

CRE
戦略

甲類焼酎
ビッグマン

リーチ マイケル 継続起用

■ 北海道No.1焼酎

北海道エリア
新TVCM公開



チューハイ の素

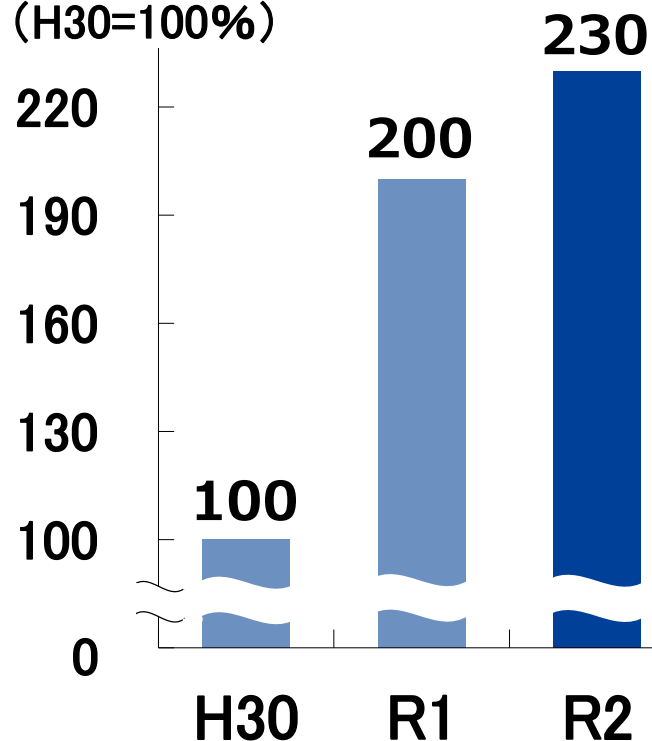
家飲みチューハイの訴求

■ 手軽に自分の好みで自由に作れる



“チューハイの素”市場の伸張

(H30=100%)



乙類焼酎 博多の華

本格麦焼酎 全国売上第2位ブランド

- ラインアップ拡充→売上高100億円規模へ
- 900mlスリムパック追加



2019年実績

前年比

104%

すごむぎ
すごいも

甲乙混和焼酎 全国売上第2位ブランド

- 混和焼酎市場のトップを目指す
- “身近な商品”として配荷を拡充



2019年実績
前年比
111%

チューハイ

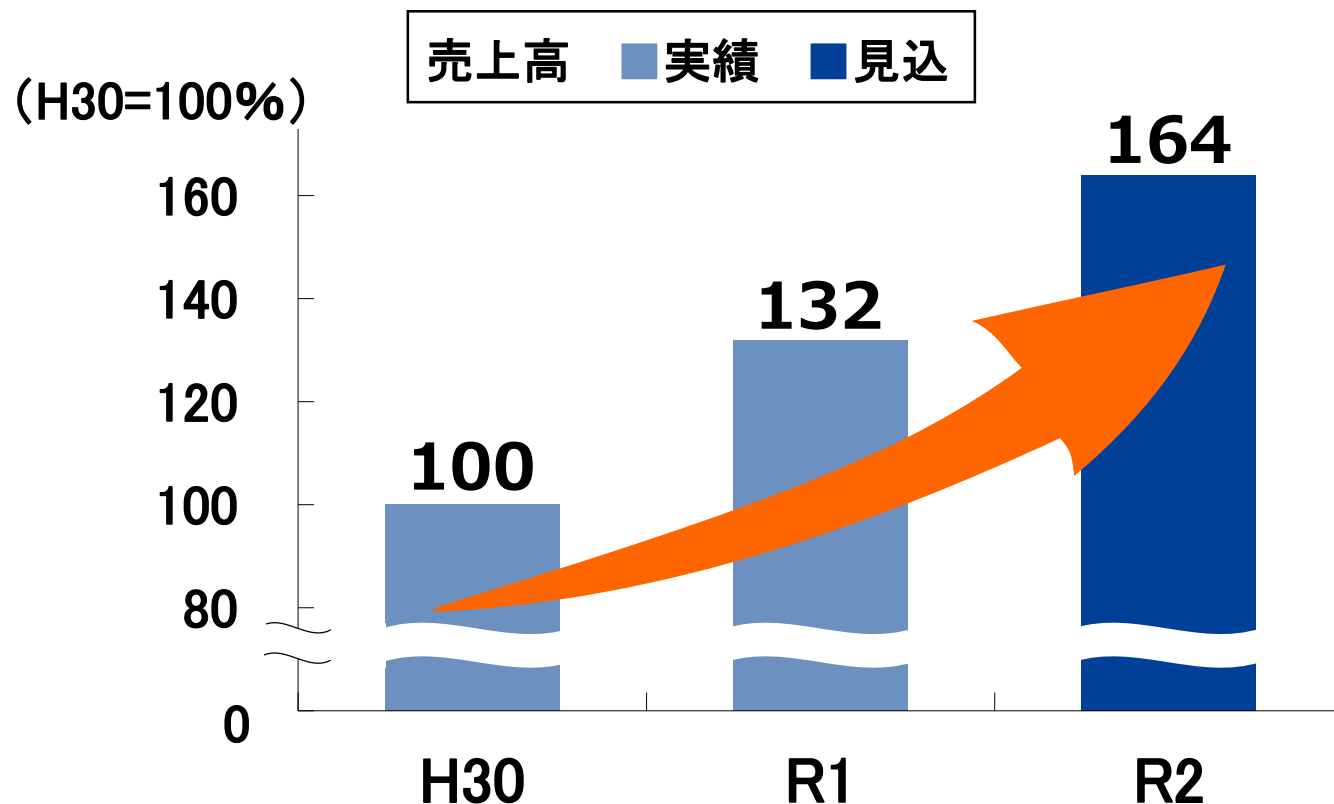
■ ご当地ハイボール・チューハイの積極展開



チューハイ

オエノンプロダクトサポート (OPS)

■ 受託製造 (パッカー) 事業の着実な伸張



その他

- オリンピック・パラリンピックを見据え、
広告・販促を強化
- 国産クラフトジンの海外での需要増大

DENKI BRAN

電気ブラン

空港アクセス線
など 交通広告
の拡充

ジン・スピリッツ輸出

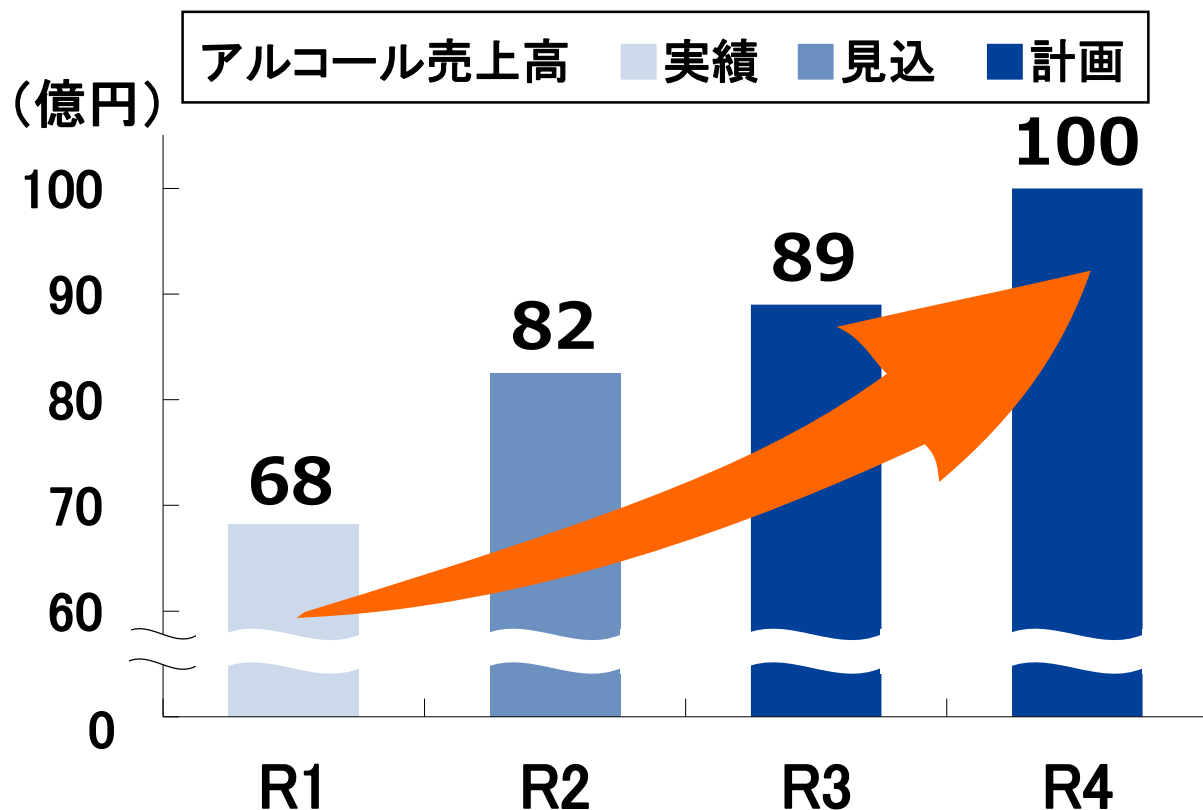


〔生産拠点〕
旭川、湯沢、更に追加

販売先
欧州各国
北米・豪州

アルコール

- 清水工場 蒸留設備増強完了 本稼働
生産数量：35,000 → 75,000KL/年
- アルコール販売シェア 第2位を目指す



生産体制 の改善

- 消費地に近い工場での生産（ボトリング）
- 省人化設備導入など、コスト競争力の最大化



消費地の工場で
ボトリング



物流コスト低減
稼働率の向上

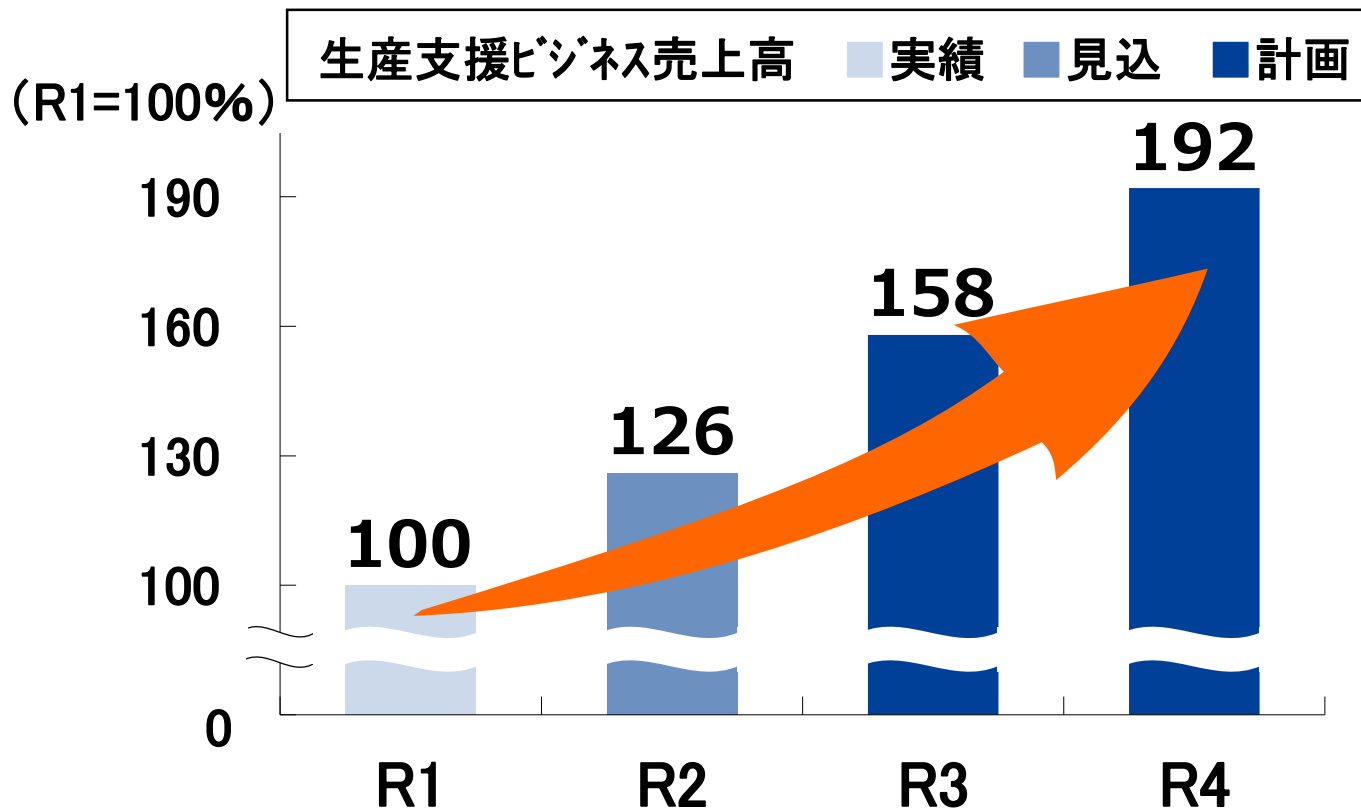
ラクターゼ

- 主にオーガニックラクターゼに注力
- 新たな製造技術・設備導入などによる徹底的なコスト削減（前年比△8%見込）

製品 ラインアップ	用途	主要販売先
中性ラクターゼ	乳製品（牛乳・ヨーグルト）	欧州等
酸性ラクターゼ	サプリメント	欧州
新規ラクターゼ	育児粉乳用原料	欧州、アジア

生産支援 ビジネス

- 重点取組先との連携強化、生産能力UP
- 技術力・価格競争力向上による新規獲得



不動産

- 銀座ビル解体工事 4月より開始
- 吾妻橋レジデンシャルホテル建設工事着手

銀座ビル再開発 外観イメージパース↓

銀座

ロイヤルパークホテルズ
2023年1月 開業予定

吾妻橋

レジデンシャルホテル
2021年1月 開業予定

開発計画の確実な実行



←吾妻橋レジデンシャルホテル計画
外観イメージパース

地球環境 対策

■ 既存設備を環境配慮型省エネ設備へ

久留米工場

ボイラー更新
(省エネ・CO₂削減)
重油 → LNG



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



旭川工場

冷媒設備更新
(特定フロン撤廃)



13 気候変動に
具体的な対策を



酵素医薬品工場

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

1. 令和元年度 連結決算概要
2. 令和2年度 重点方針
3. 令和2年度 通期業績見通し



(百万円、%)

	元年	2年	増減	前期比
売上高	75,444	76,000	555	101
営業利益	1,752	1,400	△352	80
経常利益	1,745	1,400	△345	80
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,104	600	△504	54

1株当たりの配当金 7円

利益増減

R元年営業利益 17.5億円
R2年営業利益 14.0億円

酒類事業 $\Delta 2.1$ 億円

加工用澱粉事業 $\Delta 0.9$ 億円

酵素医薬品事業 $\Delta 0.4$ 億円

その他 $\Delta 0.1$ 億円

減益の合計
 $\Delta 3.5$ 億円

原材料(粗アル)単価上昇
 $\Delta 8.8$ 億円

償却費負担の増加
 $\Delta 3.0$ 億円

増益の合計
 $+ 0.0$ 億円

$\Delta 3.5$ 億円

(億円)

(単位：円)

	元年	2年
ドル	109	115
ユーロ	122	120

マイナス要因

粗留アルコール	△3.4
コーン	△1.2
輸出(酵素・酒類)他	△0.1
計	△4.7

△4.7億円

* 為替レートがフラットな場合

(百万円、%)

	元年	2年	増減	前期比
売上高	75,444	76,000	555	101
営業利益	1,752	1,840	88	105
経常利益	1,745	1,840	95	105
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,104	1,040	△64	94

令和元年(2019年)12月期 決算説明会

オエノンホールディングス株式会社

自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、
人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。

令和2年2月14日

代表取締役社長 西永裕司

証券コード：2533